jRO通信

ジロー

発行日
平成28年
10月1日

第2号

日本山岳救助機構（jRO:ジロー）合同会社
Japan Rescue Organization LLC

発行月次についてご了承のお願い

この通信は平成29年1月～6月に会員更新を迎えられる方および、新規ご入会の方にお送りしております。6ヶ月に1回の発行のため、記事中の催事等の期日に前後が生じている場合があります。なにとぞご了承のほどお願い申し上げます。

〔 トピックス 〕

アドベンチャーレーサー 田中陽希氏　［ 日本2百名山ひと筆書き 達成記念講演 ］

2016年6月18日（土）品川区【きゅりあん】、25日（土）【大阪市中央体育館】の二日間、第18,19回のjRO会員講演会を開催いたしました。エピソードやテレビでは見られなかったヒヤリハットなどのお話をしていただきました。東京、大阪両会場とも大盛況のうち、陽希さんのお人柄に酔いしれる時間を共有させていただきました。

〔 講演会のお知らせ 〕

第20回講演会　冬山前の実践医学講座

― ことしスノーデビューやビギナーの方の冬の医学 ―

講演者：師田（もろた）信人 氏（国際山岳医　信州大学学士山岳会理事）

2016年12月9日（金）　午後7時～午後9時（開場午後6時30分）　新宿区四谷区民ホール（東京都新宿区内藤町87 四谷区民センター 9F）

事務センターからのお知らせ

会員の皆様には日頃から安全山行を心がけて頂き誠にありがとうございます。冬山登山の季節がやってまいりました。雪崩などによる遭難は捜索が長期化する傾向があり、それに伴い捜索・救助費用も比例して膨大になります。

昨シーズンは雪の少なさにガッカリなさった方も、今期の雪山に向けての計画を進めてらっしゃるかと思います。装備など準備万全で白銀の世界へお出かけください。

さて、今回ご案内差し上げた更新案内をご確認いただき、口座残高・クレジットカードのご確認等をよろしくお願いいたします。

HP上や規約などでは分かりづらいQ&Aを下記に記載いたしました。ご参照頂ければと思います。

Q. 高山病や低体温症・凍傷でもカバレージ対象になる？

A. 山岳スポーツ中に発病した疾病による遭難も対象となります。ただし、医師から登山を止められているにも拘らず、持病が悪化し下山できなくなった場合などは削減される場合があります。

Q. 登山届を提出しないと支払対象外？

A. 登山届提出の有無はお支払条件には一切関係ありません。しかし、登山届は計画的な登山のための基本条件です。また、万一の際のすみやかな捜索救助活動を行うためにも必須です。提出の有無は補てん金のお支払条件にはなっておりませんが、jROでは登山届（山行計画書）の作成と関係先へのご提出を強くおすすめいたします。また、ご家族へ登山届のコピーを渡していただくとともに、jROに加入なさっていることもあらかじめお伝えください。

Q. スキー場での遭難は対象？

A. スキー場の管理下でケガをして動けなくなった場合に救助費用が発生することは考えにくいです。しかし、過去にスキー場滑走中、誤ってコース外に転落、谷を登り返すことが困難だったため、そのまま滑り続け現在地が分からなくなり救助要請、スキー場の有料車両にて救助された件でお支払い実績がございます。

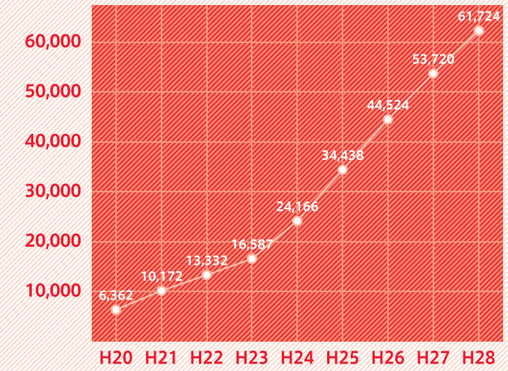
Q. 実際に遭難にあったら？

A. まずは、同行者の安全確保、遭難者への応急措置（自救力=セルフレスキュー）です。次に、警察・消防、近くの山小屋、登山者等に救助要請をしてください。携帯電話の繋がるところでしたら警察・消防へ通報（110番、119番）をお願いします。その際はまず「山岳遭難です！」とお伝えください。通報時には、現在地・事故の状況・遭難者の個人情報・通報者・症状・措置の概況・同行者の状況等をメモしておきましょう。その後、警察や消防からの連絡や指示を待ちます。このため携帯電話は待機にします（家族・友人への連絡は救助後）。捜索救助費用のご請求は救助活動が一段落後、会員証に同封の「遭難事故第一報報告書」にご記入の上、事務センターへお知らせください。請求書式や手続きについてご案内いたします。捜索の長期化や第二次捜索の救助隊の編成などの場合も事務センターへご相談ください。

〔 jROの現況 〕

日本山岳救助機構（jRO:ジロー）会員制度は本年4月に9年目を迎えました。平成20年4月発足時、東京都山岳連盟が運営していた「都岳連山岳遭難共済」からの約5千名の移行を受けてスタートし、現在6万名余（平成28年8月末現在）の会員を擁するに至りました。この間の伸び率12倍、更新率98%と順調な伸長を示しております。これは、会員の皆様のjROへのご支援とご理解の賜物と篤くお礼申し上げます。

グラフ1〔 jRO会員数の推移（H20～H28） 〕



※毎年度12月時点での会員数（ただしH28は8月末時点）

〔 jROの事業 〕

jROは国内唯一の「山岳遭難対策制度™」として総合的な山岳遭難予防、万一遭難した場合のダメージ軽減、早期の社会復帰を図る制度です。次の3項目を主たる事業内容としております。

- 捜索・救助費用を330万円までお支払い（補てん金）
- 遭難防止のための講習会、講演会、コンサル
- 救助隊派遣の斡旋、用具の貸出

〔 補てん金のお支払 〕

昨平成27年度の山岳遭難捜索・救助費用補てん金の支払い実績は別添の「お知らせ」の通りです。平成28年度捜索救助費用補てん金のお支払は、本稿起草時点では6月に発生の山岳遭難までのご請求なので、年間概観は申し上げにくい状況ですが、16件のご請求中"単独山行・道迷い・転滑落"の事例が8件あり約50%を占めます。また未請求では2件の行方不明案件があり、捜索の長期化に伴い捜索救助費用も高額になると見込まれています。単独→道迷い→転滑落の事故案件は平成27年度のお支払実績でも27件あり、約61.4%です（今後、推計値の確定に伴い若干変動する場合があります）。

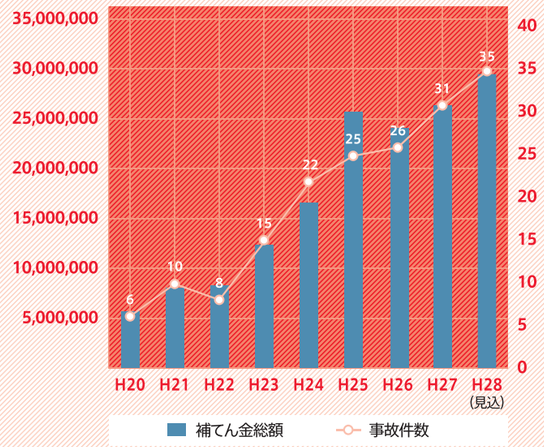
jRO通信　第2号（平成28年10月1日発行）　日本山岳救助機構（jRO:ジロー）合同会社
〒160-0022　東京都新宿区新宿1-20-14　サンモール第8マンション203号室　TEL：03-6273-1633　FAX: 03-6273-2501　URL http://www.sangakujro.com/

〔 事後分担金 〕

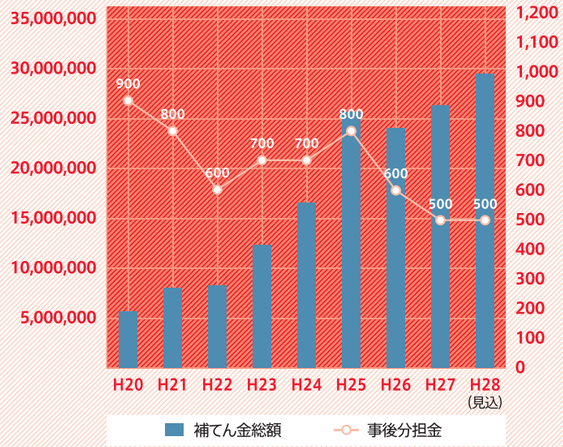
jROではお支払いした補てん金総額を、当該年度の会員の方に等分にご負担いただく事後分担金制度を設けております。平成28年度は補てん金総額29,699,152円（推計値含む）、会員総数63,090名（見込含む）として会員1名当たり500円を分担していただくこととさせていただきました。事後分担金は、次年度更新時に次年度会費2,000円（税別）と合算して、登録金融機関口座・クレジット口座からの自動払い込みです。次年度更新をなさらない場合は事後分担金のみのご負担になります。事後分担金は他の制度や保険等とは異なり、責任準備金や予備積立金等を含みません。お支払いした補てん金実費のみですので、結果的に低廉なご負担となっております。会員数の増加に伴い、事故件数、補てん金支払総額は増えてはおりますが、事後分担金は低減傾向が続いております。

2008年度900円／2009年度800円／2010年度600円／2011年度700円／2012年度700円／2013年度800円／2014年度600円／2015年度500円／2016年度500円

グラフ2〔 補てん金支払い総額と事故件数 〕



グラフ3〔 補てん金支払い総額と事後分担金推移 〕



〔 講演会と講習会 〕

jRO創設以来、講演会は通算19回、講習会は49回開催しております。講演会は「遭難防止会員講演会」として年2回開催しております（今年度は6月と12月に開催）。講習会は、「自救力アップ講習会」として全国各地において順次開催いたしております。また、机上講習だけでなく実地講習もいろいろ企画中です。開催スケジュールは、メルマガ・ホームページでお知らせいたします。メルマガ閲読申込はホームページからお願いいたします※。

※メールアドレスを変更される場合は、過去のメルマガの末尾に記載されております「メールアドレス変更」からお手続きをお願いします。

講演会風景

山岳イベント出展風景

自救力アップ講習会

〔 その他の事業・活動 〕

会員の方へ訓練のため電子捜索機器「ヤマモリ」「ビーコン」等を貸し出しております。また、捜索救助活動についてのご家族からのご相談に応じています。

遭難防止事業への寄付

長野県北アルプス常駐救助隊への
無線機器、防寒ウェア等の寄贈
長野県遭難防止事業への寄付等

山岳イベントへの協賛

山の日制定催事
各地の登山フェスティバル
への協賛参加

エマージェンシーグッズの販売

自救力アップをサポート

また、救助活動への協力や遭難防止についての啓発活動に参加いたしました。

遭難防止のための研究開発

平成27年5月から公益社団法人東京都山岳連盟救助隊との共同プロジェクトとして「ドローンによる捜索技術開発」に取り組んでまいりました。夏山・秋山・雪山と季節を分け、森林帯・沢筋・渓谷・岩峰・稜線と地形や地相を変えて行方不明者の発見を目的とした捜索訓練を続けました。

jROと都岳連は今後も連携し、遭難防止の研究開発を進めます。会員の皆様のご支援をお願い申しあげます。

この研究結果をまとめた報告書とマニュアルはセットで有料頒布しております。

お問い合わせ先：日本山岳救助機構合同会社　〒160-0022　東京都新宿区新宿1-20-14サンモール第8マンション203
TEL：03-6273-1633　e-mail：main.jro@helen.ocn.ne.jp

〔 山小屋・旅館等宿泊提携施設のご案内 〕

jROは（公社）東京都山岳連盟の賛助会員になったことで、都岳連会員と同等の各種特典の利用が可能です。提携施設としての山小屋は以下の通りです。

jROの会員カードをご提示ください。

jRO会員カード

名称	山域	優待条件
槍ヶ岳山荘	北アルプス	宿泊費を500円引き
太郎平小屋	北アルプス	
スゴ乗越小屋	北アルプス	
高天ヶ原山荘	北アルプス	
薬師沢小屋	北アルプス	
蓼科山頂ヒュッテ	八ヶ岳	
赤岳天望荘	八ヶ岳	
ヒュッテ夏沢	八ヶ岳	
美濃戸山荘	八ヶ岳	
八ヶ岳山荘	八ヶ岳	
青年小屋	八ヶ岳	
権現小屋	八ヶ岳	
硫黄岳山荘	八ヶ岳	
根石岳山荘	八ヶ岳	
夏沢鉱泉	八ヶ岳	
雲取山荘	奥秩父	
三条の湯	奥多摩	
宿坊駒鳥山荘	奥多摩	
三ツ峠山荘	富士山	
土合山の家	谷川岳	宿泊費を810円引き

名称	山域	優待条件
やど千秋庵	谷川岳	宿泊費を500円引き（平日のみ）
谷川岳肩の小屋	谷川岳	宿泊費を500円引き
永楽荘	谷川岳	宿泊費を1,500円引き
八幡平高原ホテル	東北	宿泊費を500円引き
旬樹庵ハイランドホテル山荘	東北	
八甲田山荘	東北	
大清水小屋	尾瀬	
山ノ鼻小屋	尾瀬	基本宿泊料10%引き
日光澤温泉	日光	缶ビール350mlサービス（平日のみ）
天狗温泉浅間山荘	浅間山	宿泊費を500円引き（要予約）
柾廣館	六日町	宿泊費を500円引き
蛭ヶ岳山荘	丹沢	
みやま山荘	丹沢	
離騒館	会津	おかず1品＋湯の花温泉入浴券
ホテル大山しろかね	鳥取	宿泊費を1000円引き
明神館	上高地	宿泊費を500円引き（要予約）
アルプ天元台	米沢	基本宿泊料10%引き
白馬観光開発	白馬	リフト、温泉など割引（HP参照）
剣山山頂ヒュッテ	四国	宿泊費を500円引き
ペンションいぶき	伊吹山	

季節、曜日により優待条件が変更になる場合がございます。詳細は、各施設へお問い合わせください。